

小規模多機能型居宅介護「サービズ評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 大穂町社会福祉協議会	代表者	徳田 信也	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> 前事業所は東日本大震災で全壊流失したため、現事業所は津波到達の心配のない地域にあり安心な利用ができる環境になりました。災害時には地域のみさんの一時避難所としても活用できるよう備蓄品も整備してあります。 地域にも民家が増えてきており、皆さんの集会所的な役割も果たしています。 職員一同、可能な限り利用者様個々のニーズに対応ができるよう努めています。 					
事業所名	ほっと おおつち	管理者	千葉 万知子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		人	3人	人	1人	1人	人	1人	2人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今後は誰もが分かりやすい言葉で表現します。 職員の名前と顔が分かるような掲示物を作成し玄関等に貼りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の間で、カンファレンスという表現が浸透しており、なかなか改善できていなかった。 顔写真と名前を大きく、玄関スペースに表示した。(現在は、人車異動の関係で新掲示物を作成中) 	<ul style="list-style-type: none"> 改善できていなかった「カンファレンス」という言葉等、専門用語を使わず、誰でも分かる表現をしてほしい。 他、事業所の職員も出入りしているの、だが、施設の職員なのか把握できない。 自己評価をきちんとしていると感じたが、推進委員の外部評価の内容が自己評価と連動していないため、評価しにくかった。 他の施設を知らないの、比べられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般むけの文書等については、専門用語は使用せず、わかりやすい表現にします。 新職員も含めて職員紹介の掲示物を貼りだします。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> プランターに花を植えたりするなどで、明るいイメージ作りを行います。 県道沿いにガソリンスタンドが営業したため、看板を設置するよう検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> プランターに花を植えて、玄関前に並べたが、すぐ枯れてしまった。その後、ミニトマトを植え実が生るまで色彩を楽しめた。 看板は、玄関スロープの修理工事を優先したため、予算の関係もあり設置できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 入口がわかりにくい、周知するという意味でも、早く看板を設置してもらいたい。 設置場所も分かりやすい場所を検討してほしい。(現在、入り口に設置している看板はわかりづらい) 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の作成は同法人のワークフォロとおつちに依頼しています。現在の看板は他の場所に移動する予定で、今後は、設置場所の許可を取る予定です。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事を把握し、職員も草刈りにできるだけ参加するよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の草刈り作業日には、時間は違ったが、同日に事業所職員も作業をおこなった。ただし、地域の皆さんのご厚意で、施設前の草刈りが終了していたため、山千プロック側の草刈りのみ実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の草刈り等の活動の際は、早朝だが、時間も合わせて参加した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の草刈り日や泥上げ等の作業開始時間に合わせて、職員もできる限り参加するよう調整します。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事等のチラシを作成して地域で回覧していただき、地域の人との交流が深まるようになっています。 近隣に住宅も増えてきて周辺環境も変化しているの、近隣の散策等も実施したいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の行事や外部のボランティア来所の際には、チラシを回覧してもらい周知を図った。 ドライブ等車での外出は行ったが、散歩については、工事などで道路事情が悪かったり、声掛けしても利用者から断られ、散歩するまでに至らなかった。 わらび学園のパン販売があり、利用者も買い物をしている レク参加のボランティアを常に受付している 	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容を地域に知らせているのか。 施設ができたことにより地域の集いや会議で使用させてもらえるの助かる。 季節により地域の散策も必要。 項目の内容に無理があると思う。 質問の表現に工夫がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 28年度同様に、事業所の行事情報を地域の回覧板に掲載したいと思います。また、ブログ等に活動内容を発信する機会を増やしていきたいです。 地域に公園等もなく、散策に誘っても出たがらない傾向にあります。住宅も増えてきているので、公園等が早く整備されることを期待しています。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室がないため、利用者はドライブに出かけていただきましたが、今後は普段の様子を見させていただくことができるようにしたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子がわかるように、施設内で運営推進会議を行い、レクの様子など見てもらうことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」をどの範囲までとらえて良いか分からない。 ・地域との取り組みが見えてこない。どのような取り組みをするのか決める必要があるのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して、地域活動での役割や、どのような協力が必要かなどの意見交換をしていきたいと思えます。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に緊急事態を知らせる工夫を検討します。 ・発電機は配備してありますが、自家水道はできるだけ設置するよう対応を考えます。 ・災害対応マニュアルを委員に提示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セコムに加入しており、不審者が侵入した際に、セコムに知らせるボタンがあり、職員が対応する。 ・周囲の住民に、緊急を知らせる非常灯を購入した。現在、設置場所を検討している。 ・水害の際は、施設の場所も避難指示が発令される。施設も対応が行えるように防災計画を作成。火災に際しては、スプリンクラー設置を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に知らせる非常灯を、2ヶ所に設置した方が良いのでは？また、設置後は、周囲の住民に周知してほしい。 ・夜間は、職員が1人の為、避難など人手が必要な事態に、地域住民にも支援してもらえよう、PRが必要では？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用フラッシュを2ヶ所に設置します。 ・夜間の非常時には、地域の皆さんにも協力していただけるように、集会で説明し、周知していきます。